

第8回 統計品質改善会議 議事概要

- 日 時：令和6年7月26日（金）13:30～
- 場 所：中央合同庁舎2号館 国土交通省 官庁営繕部会議室
- 議事概要：以下のとおり。

【資料の説明】

以下の各議事に関する資料を事務局が説明。

- 議事1 「国土交通省統計改革プラン」の主な実施状況の報告（骨子案）
- 議事2 建設関連統計の品質改善に向けた検討
- 議事3 統計品質改善会議の構成員の変更

【構成員からの主なご発言】

<議事1：「国土交通省統計改革プラン」の主な実施状況の報告（骨子案）>

- 「統計改革プラン」はいつまで続けるのか。「改革」と称して集中的に人員等を集め、いつまでも続けていくことは困難と思われるので、ゴールを決めておく必要があるのではないか。
- フォローアップが形式的な対応とならず、内容のあるものとするよう留意する必要がある。

<議事2：建設関連統計の品質改善に向けた検討>

- 今回の誤回答の内容及びその対応を速やかに公表したことは評価できる。今後も、そのような姿勢を継続することが統計の信頼性を維持することにつながる。
- 統計品質改善会議において諸課題を議論し、その結果を踏まえて調査内容の変更等を行っているので、これまで良く取り組んできていると思う。
- 先日の建設工事受注動態統計調査の誤回答の案件に関しては、統計調査に誤りは必ずあるものの、どのような経緯で誤りが発覚し、その発覚後にどう迅速に対応したかのプロセスが重要である。
- 回答する者は様々なので、少しでも正確に回答していただくようにするためには、パンフレット等に加え、調査票の修正も必要ではないか。
- 統計調査上は誤りの発生は避けられないので、誤りが発生した際に速やかに対応することが必要である。今回は、誤回答を発見できた上に、速やかに対応したと思う。

<議事3：統計品質改善会議の構成員の変更>

- 今月から統計品質改善会議の構成員として、青山学院大学の元山教授にご参画いただいている。
- 統計品質改善会議運営規則については、事務局の提案どおりに一部改正を了承する。
(各委員異議なし)

以上